

1/15

今後もより一層の
連携を約束

県

央の拠点として隣り合う大村市と諫早市による第3回県央二市サミットを、「新幹線開業に向けた観光開発」をテーマに開催しました。

会場のおおむら夢ファームシミュの代表で、県グリーンツーリズム推進協議会幹事を務める山口成美氏にご講演いただき、農家民泊や観光農園の取り組みが紹介されました。

また、両市の市長をはじめ、市議会議長や商工会議所会頭の6人によるパネルディスカッションでは、「農業や歴史を生かした観光の開発」や「スポーツコンベンションの誘致」など具体的な提案もあり、今後更に交流を進めていくことを約束しました。

第3回県央二市サミット



1/21

災害時に備え
協力協定を締結

市

立西大村小学校や校区内の町内会長会、中地区第1民生委員児童委員協議会、西大村小PTAの4つの団体が、同校で調印式を行い、災害時の協力協定を締結しました。

これは、市の住民主導型地域活性化交付金事業を活用した取り組みの一つで、災害時に小学校を地域の拠点とし、児童や高齢者などの災害時要援護者を守る地域づくりを目指すものです。

調印式と併せて、西大村地区地域活性化事業協議会から、災害対応用の備品が贈呈され、避難所となる同校に配備されました。

西大村小学校区災害時協力協定調印式



2/1

国体開催に向け
万全の体制を

平

成26年に開催される「長崎がんばらんば国体」の「長崎がんばらんば大会」の各競技会を円滑に運営するため、市国体推進課に「長崎がんばらんば国体大村市実施本部」を設置しました。

この実施本部では、本市で開催される国体の正式競技6競技、デモスポーツ大会の2競技、障害者スポーツ大会の正式競技2競技の大会運営にあたります。

また、各競技団体の皆さまや、市民ボランティアの皆さまのご協力をいただきながら、多くの人たちの心に残る大会を目指して取り組んでいきます。

長崎がんばらんば国体大村市実施本部設置



2/1

市民サービス向上の
ためモニターを設置

市

民課の窓口業務の効率化と、市民サービスの向上を目的に、「市民課窓口番号案内表示機」を設置し、市役所の市民課前でモニターを行いました。

窓口には、受付番号の自動発券機や大型モニターを設置し、手続きにいられたお客さまの便宜を図ります。

導入費用は、市内の事業所などの広告費でまかなわれ、モニターにはその広告のほか、受付順番の表示や、市からのお知らせなどが表示されます。

これから転入が多くなる時季を迎えることから、窓口業務を円滑に進めるための体制を整えていきます。

市民課窓口番号案内表示機設置セレモニー



2/12

全市的な課題として
自殺対策を

自

殺対策をさらに効果的なものとするため、医療や福祉、保健機関を中心に約30団体で組織する「大村市自殺対策ネットワーク会議」を設置し、第1回目の会議を市コミセンで行いました。

これまで、市内部に自殺対策協議会を設置し協議してきましたが、自殺の原因が多岐にわたることから、全市的な課題として捉え、各関係団体と連携して取り組む必要が出てきました。

今回の会議では、市の自殺の現状やこれまでの取り組みを説明し、意見交換を行うなど、今後の連携に向けて確認しました。

第1回大村市自殺対策ネットワーク会議





君の夢 はばたけ今 ながさきから

長崎がんばらんば国体 2014 長崎がんばらんば大会 2014

第69回国民体育大会 / 第14回全国障害者スポーツ大会

vol.10

長崎がんばらんば大会(正式名称:第14回全国障害者スポーツ大会)の大村市で開催される正式競技を紹介します。

長崎がんばらんば大会:会期…平成26年11月1日(土)～3日(月・祝)

障がいのある選手が競技などを通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がいのある人の社会参加の推進を図ることを目的とした障害者スポーツの全国的な祭典です。本市では次の2競技を実施します。

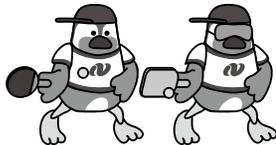
卓球(身体・知的)

※サウンドテーブルテニス(身体)を含む

通常の卓球とほぼ同じルール的一般卓球と、視覚障がい者が行うサウンドテーブルテニスがあります。後者は、音の出るボールや打った音が聞こえるようラバーのないラケットを使用し、アイマスクをした選手がテーブルを転がるボールの音を頼りにプレーします。

…ところ…

大村市体育文化センター

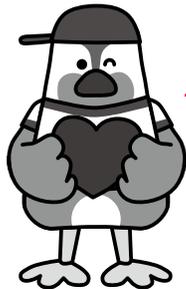


ソフトボール(知的)

1チームは、男女を問わず15人以内の知的障がいのある選手で構成され、9人でプレーします。ルールは一般のソフトボールとほぼ同じですが、選手交代は自由で、盗塁、スクイズ、振り逃げは認められていません。

…ところ…

大村市総合運動公園多目的広場(仮称)



国体ボランティアを募集しています!!!

長崎がんばらんば国体や今年開催される競技別リーサル大会の運営をお手伝いしていただくボランティアを募集しています。全国から訪れる皆さまを温かく心のこもったおもてなしでお迎えし、大会を盛り上げましょう。

◆ボランティア登録申込書は

国体推進課、各住民センター、ボランティアセンターで配布しています。

※詳しくは、市のホームページをご覧ください。

■長崎がんばらんば国体大村市実行委員会事務局(国体推進課内・内線269)

「よし、わかった」と、約束したからには企業誘致にもっと力を入れなければなりません。新成人が中学生だった頃の恩師の指揮で、全員合唱「大地讃頌」があり、その一糸乱れぬ澄み切った力強い歌声には感激しました。

私は二十代の頃、富士の裾野にある陸上自衛隊滝ヶ原駐屯地で体験入隊。ひと月に及ぶ激しい訓練を受けたり、アメリカカフラス、イタリアなど諸外国へ独りでの6か月わたる貧乏旅行もやってみました。新成人の皆さんにも、型にはまらず、今の自分とは別の世界を見てほしいし、思いっきりデッカイ夢を持ち、それに向かってコツコツと努力をしてほしいと願っています。また、そのきつかけを作るためにも一流の人物や芸術にふれることが大切なことだと思います。

二十歳というのは、人生を長く歩んだ人に比べれば未熟です。しかし、未熟だから、若いから、独りだからできることもたくさんあると思います。

そして、ジャーナリストの池上彰さんが語っている、「二度地獄を見るから世の中につらい仕事はなくなる。苦しい経験を若いうちにすることこそ得られるものがある」という言葉を贈りました。

式が始まりは少々ザワザワとしていた会場でしたが、私が登壇し新成人の皆さんをゆつくり見渡すと静かになってくれました。「皆さん、元気ですか」と大きな声の私に、「はい、元気です」と会場中から頼もしい声を返してくれました。嬉しくなった私は自身の二十歳の頃の失敗談、好きな人にふられたこと、受験に失敗したこと、就職試験も3、4か所落ちたことなどを話していました。

1月13日、市民会館で行われた恒例の成人式には、820人の参加がありました。最近ボランティアの若者たちがスタッフとして活躍してくれています。



「二十歳の頃
わたしは」



vol.19